

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

( 夏期・社会人特別選抜 ) 問題

筆記試験 言語学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号

1 / 8

成

績

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・社会人特別選抜) 問題

筆記試験 ( 言語学 専攻分野)

I. 次の文章を読んで、問(1)～(4)に答えなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

---

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

---

---

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

---

---

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(Dinesh Ramoo (2021) *Psychology of Language*, 165-168. BCcampus Open Education. より一部改変)

---

- 問 (1) 下線部(i)の lemmas とはどのようなものか、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (2) 下線部(ii)の The reason these two processing levels, lemma retrieval and word-form encoding, are assumed to exist とはどのようなものか、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (3) 下線部(iii)の In the first, we see that the morpheme that indicates the plural number has remained in place while the morpheme for 'apple' and 'pie' exchanged. を日本語に訳しなさい。また、その意味するところについて、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (4) 下線部(iv)の Roeloffs (1999) は、どのような実験を行い、どのような結果を得て、どのような結論を導いたのか、本文に即して具体的に説明しなさい。
-

---

II. 「言語学会第23回大会」を通常で発話した場合の発音を国際音声記号 IPA で表記しなさい。

III. 次の10語の中から5語を選び、和訳した上で簡潔に説明しなさい。

1. accent
2. agglutination
3. compositionality
4. ergative alignment
5. gender
6. iconicity
7. inalienable possession
8. linguistic relativity hypothesis
9. relative clause
10. sonority hierarchy

【問題I、問題II、問題IIIに対する解答は次頁以降にまとめて記すこと】

---





